

令和2年度
事業報告書

社会福祉法人茂原高師保育園
たかし保育園稲毛海岸

1. 管理業務の実施状況

① 保育時間

平日 午前7時～午後8時
土曜 午前7時～午後6時

② 特別保育事業

産休明け保育事業	生後57日より
延長保育事業	18:01～20:00
地域交流	園の行事に参加

③ クラス体制および利用状況

めばえ組…0歳児 ふたば組…1歳児 しげり組…2歳児
みのり組…3・4・5歳児

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	3	4	5	6	6	6	30
31年4月	1	7	8	7	6	7	36
R2年3月	3	7	7	7	6	8	38

④ 職員体制

園長	大岡さおり	ふたば	北野夏美	みのり	金子桜	フリー	古山美佳
主任	中林瑞穂	ふたば	土井美咲	栄養士	増田美貴子	フリー	石山麗9月～
副主任	草野志歩	しげり	草野志歩	栄養士	飯竹安輝子	大塚琴子 6/15～産休	
めばえ	萱沼莉莎	しげり	水越愛美	看護師	森嘉七子		
めばえ	井上みゆ	みのり	石井彩乃				

2. 年間行事実施状況

誕生会・避難訓練・身体計測

4月	
5月	
6月	歯科健診 内科健診

7月	七夕の集い 夏まつり
8月	園バス
9月	総合避難訓練 尿検査
10月	みんなであそぼう（自由参加） 芋ほり（3・4歳児） 芋煮会 内科健診
11月	通報訓練 親子リトミック（自由参加） 就学児健診（年長） ランチバイキング（各クラスで実施）
12月	クリスマス会 餅つき 発表会
1月	初詣（全園児） 初釜（みのり）
2月	節分の集い 食育（味噌作り） 保育面談（2歳児クラスのみ）
3月	ひな祭り会 徒歩遠足（全園児） 入園説明会（個別） お別れ会 卒園式 進級会（園児のみ）

3. 職員研修実績

日	参加者	研修名
毎月第2：火	大岡	常任委員会議
毎月第2：木	大岡	園長連絡会議（10月～）
毎月 1回	中林	主任会（中止）
年間 6回	飯竹	栄養士研修（中止）
年間 6回	北野 大岡	美浜区会 全体会（中止）

参加者	研修内容
水越愛美	法人内令和2年度新採用者説明会
森嘉七子	小児の口腔機能の発達（WEB研修）
草野志歩	児童虐待防止関係機関職員研修（児童相談所）
萱沼莉莎	全国保育士会～これって虐待～（WEB研修）
石山麗	民保協 新しい生活様式の中での保育を考える（リモート研修）
増田 飯竹	保育所（園）における食物アレルギーの対応（WEB研修）
北野 萱沼 石井	今日児教育について（WEB研修）
金子 草野	アプローチカリキュラムと小学校の連携に繋ぐ
飯竹安輝子	千葉県給食施設研修会（WEB研修）
中林瑞穂	事故予防・安全対策（WEB研修）
古山美佳	保育者研修 子どもの姿に基づけた指導計画（WEB研修）
増田 飯竹	千葉県保育協議会給食担当者研修会（WEB研修）

中林 大岡	保育所（園）における食物アレルギー対応について
北野夏美	新型コロナ・深刻事故予防・新年度の価値/リスク・コミュニケーション
中林 北野 萱沼	インクルーシブ保育～気になる子～
水越愛美	保育施設で働くうえで大切な事（WEB研修）
古山美佳	キャリアアップ研修（1科目）幼児教育
北野夏美	キャリアアップ研修（1科目）障害児保育
萱沼莉莎	キャリアアップ研修（1科目）保護者支援
草野志歩	キャリアアップ研修（1科目）障害児保育
飯竹安輝子	キャリアアップ研修（1科目）乳児保育

4. 運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 令和2年度（自）令和2年4月1日（至）令和3年3月31日」参照

5. 評価および反省

保育に関しては、4、5月に緊急事態宣言が出され職員、保護者、子どもたちも戸惑いながら過ごす事になりましたが、全体的には落ち着いて自分たちがやらなければいけない事（衛生面、受け入れ時の対応、発生した場合のマニュアル作り等）を考え行動出来ました。保育行事は保護者を招いての行事は、縮小して行えるものは行い、無理せず日常保育を大切にすることを職員間で意識した結果、行事準備で使っていた時間がゆったりとした関りの時間に変わり、例年以上に子どもたち一人ひとりと向き合える事が出来ました。特に『みんなで遊ぼう』は運動会に代わり保護者抜きで全園児と全職員とで稲岸公園で体操やボール遊び、しっぽ取り等で思いきり遊びとても楽しい活動となり、子どもたちからも大好評で次年度も続けることになりました。また、3月に保護者に別会場へ集まっていたいただき（年齢ごとに）重要事項説明会と保育内容、コロナ対応、苦情報告等について園長の考え方を直接話す機会を持てた事で今年度は園内に入ることを規制していたため、保護者との距離があったように感じていたので少しですが距離を近づける機会が持てたように思いました。

運営ですが0歳児が開園以来、初めて3名以下のスタート（4月～7月まで1名）となり、主任加配が付かない、委託費の減額で赤字運営となってしまい、改めて0歳児受け入れが園の運営に強く関係することを実感させられました。稲毛海岸駅近くに毎年4園近く小規模保育園が出来る現状から、今後は0歳児の取り合いがさらに激化することも考慮し、職員の人数調整をしていく必要があると考えています。また、今年度途中から、受け入れ児童数を各月120%超えてはならないと千葉市より通達があり（千葉市のみで国は年間平均で120%）途中入園希望者を受け入れられなかったことも運営としては誤算でした。今後は職員数と園児数のバランスを今まで以上に考慮しながら運営にあたりたいと思います。